



スポーツの秋・読書の秋

校長 村岡 靖

ついこの前まで汗だくになって学校の坂を登っていたのに、あっという間に涼しくなってきました。秋らしいさわやかな日が続いています。休日に北鎌倉の山の中を娘と散策していたら、栗の実や柿、真っ赤なカラスウリを見つけました。もうすっかり秋ですね。

先日、第131回運動会が行われました。子どもたち一人一人が最後まで全力で頑張っていました。応援もとっても上手でした。6年生の子が、運動会が全て終わった時に、「最後の運動会、係の仕事も大変だったけれど、本当に楽しかった。」と晴れやかな顔で言ったそうです。それを聞いていた先生が、これまた嬉しそうに私に教えてくれました。

もう一つうれしかったのは、運動会の後の片づけです。保護者のみなさんが本当によく助けてくださり、あっという間に片付けが終了しました。こんなすてきな学校、なかなかありません。お手伝いをしてくださった保護者のみなさん、ありがとうございました。

秋はスポーツだけでなく、読書の秋でもあります。

語彙の豊富さと思考力の高さは相関関係があると言われています。語彙を豊かにするには、本を読むことが有効です。子どもたちには、この秋にぜひ、たくさんの本を読んでほしいと思っています。

私が最近読んだ本でおもしろかったのは「窓際のトットちゃん」の続編です。高学年なら十分読めると思いますが、大人が読んでも楽しめます。(まだ発売されたばかりで図書室にはないのですが、自分の本を校長室に持ってきたので、もし読みたい方がいればお貸しします。) 先日は、お話し広場さんからたくさんの新しい楽しい本を図書室に寄贈していただきました。ありがとうございました。今年も学校司書の小股先生から図書室の紹介をしてもらいます。

学校司書 小股純子

新田小学校図書室の蔵書数は約9千冊。子どもたちは日々、その中から自分の好きな本を選んで読書しています。たくさんの本の中から自分のお気に入りを見つけることは簡単ではありません。そこで図書室では、行事に合わせた季節本コーナーや給食のメニューと連動して旬の食材が載っている本、新聞記事からいま話題になっている事に関連した本を特集するなど、子どもたちが様々なジャンルの本を知るきっかけ作りをしています。

それでも、「何を読んだらいいのかわからない」「読みたい本がない」という子もいます。そういう時は、その子の学年や読書量に合わせて、好きなことを聞き出しながらおすすめの本を紹介しています。

今年度、前期に貸出し1位の本は「犬がおうちにやってきた！」(学研プラス)でした。僅差で「学校では教えてくれない大切なこと」(旺文社)と「ドラえもん社会ワールド」(小学館)のシリーズも人気でした。どれもカラーページが多くマンガが載っているのが特徴です。後期ではさらに読書の幅を広げて、物語や小説にも興味を持ってもらえるように読書の楽しさを子どもたちに伝えていきたいと思っています。